

風早北部 防犯情報 しょうなん

SHOW "No Action No result"

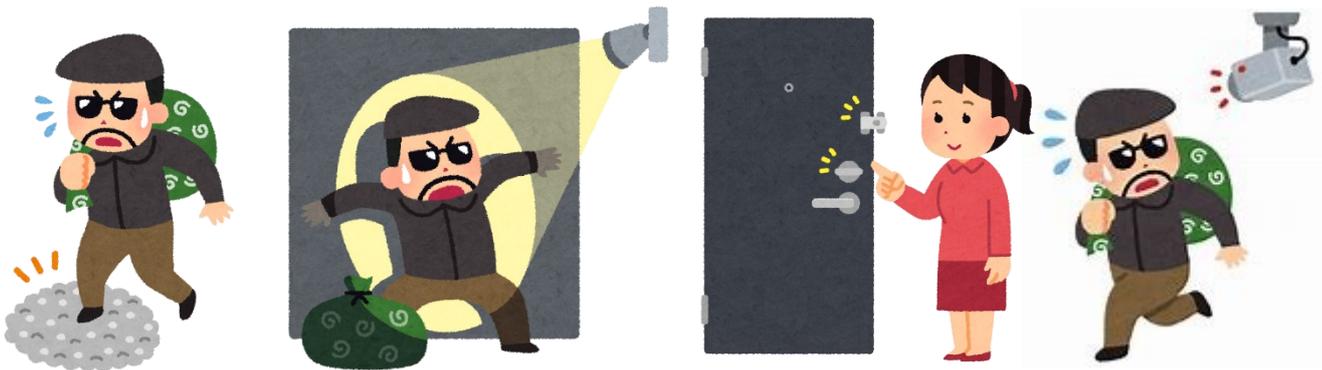


直近の凶悪強盗犯は窓ガラスを割って侵入しています

10月上旬に東京都国分寺市や埼玉県所沢市で発生した強盗事件では、勝手口等の窓ガラスを割って屋内に侵入して家主を脅したり、逃げられないように手足を拘束しています。

玄関やリビングの窓など、表通りに面した場所は避け、**周囲から見えにくい勝手口や裏手のトイレや風呂場の窓などから、ガラス窓を割って押し込んでいます。**そのため、ガラス破片が割れても飛び散らない鉄網の入った窓ガラスは、割った際に大きな音がしない分、賊が容易に入り易くなります。こうしたガラス窓は防災の効果がある反面、防犯上の弱点があります。

窓は二重施錠式にする、0.35mm以上の厚さの防犯フィルムをガラスに貼って対応することが有効です。また、強盗団が嫌うのは、「音」「光」「時間（がにかかる）」そして「人の(監視の)目」です。ガラスが割れた際のアラーム音や鳴き石の設置、人が近づくと点灯する光人感センサー、扉や窓は複数の錠を設置(錠を破るために相応の時間を要する)、防犯カメラの設置など、でしっかり対応することをお勧めします。



こうした対応をしても、泥棒が接近・侵入してくるときは、あなたや同居家族の命を第一に考え、外に逃げて助けを求める、あるいは、錠のかかる風呂場やトイレ等の個室に閉じこもり施錠し、より安全な場所から110番通報(電話がない時はその場で表に向かってSOSを叫ぶ)で警察官等の助けを待つことが何よりです。